

栗原時雄 としか 辯護士。明治二十六年七月群馬縣生れ（一九〇一）。

第一高等學校を經く、東京帝國大學法學部政治學科卒。昭和四年司法省入省。爾來各地の裁判所勤務、東京控訴院秘書を最後に、一十一年退官して辯護士開業。傍ら日佛學院に入りてフランス語を學び、次でフランス國王革命時代の三大事作物語『女性裁判史』（昭和二十七年六月一日創藝社「近代文庫」）を著した。一高時代の同窓田邊直之助の跋文がある。

